

ALEXA Mini SUP 4.0

Software Update Package SUP 4.0.24

RELEASE NOTES

Date: April 22th 2016

ALEXA Mini SUP 5.0

Software Update Package SUP 5.0.26

RELEASE NOTES

Date: June 27th 2017

ALEXA Mini SUP 6.1

Software Update Package SUP 6.1.1:72

RELEASE NOTES

Date: May 25 th , 2021



SUP4.0の新機能

4:3 ProRes 収録モード

- ◇ 4:3 2.8K (2880×2160) Max 50fps
- ◇ 2:39:1 2K Ana. アナモフィックレコーディングモード (2048×858) Max150fps
- ◇ 16:9 HD Ana アナモフィックレコーディングモード Max120fps
- ◇ 4:3 2.8Kモードは4:3センサーエリア(2880×2160)を使用します
- ◇ スフェリカルレンズ及びアナモフィックレンズともに使用できます
- ◇ EVF・HD-SDI出力はディスクイーズできます
- ProResコーデックを最適にするために2944×2160pixで収録され、その両側が黒ピクセルで埋められていることに注意してください アクティブイメージはメタデータに記録されていますが全てのツールでスケールアップされません
- ◇ 16:9HD Anaと2.39:1 2 K Anaはアナモフィック撮影用のモードです
このモードはポストプロでのスケールアップを必要としません
- ◇ 2.39:1 2K Anaモードは2.39:1の標準的な2Kのフォーマット(2048×858)で収録されます
最高フレームレート 120fps
- ◇ 16:9HD Anaモードは最終的に16:9HDとして収録されます
最高フレームレート 120fps
- 4:3収録モードはライセンスが必要です

インターナルMXF/ARRIRAW収録モード CFast 2.0カード

- ◇ カメラ内部でCFast2.0カードにARRIRAW (MXF/ARRIRAW)で収録できます
- ◇ 今までとは異なるファイルフォーマット MXF/ARRIRAW
- ◇ 非圧縮 非暗号化メタデータを含んでいます

インターナルXF/ARRIRAW 16:9 2.8K

- ◇ 16:9 2.8K 収録モードは 2880×1620pix 16:9 フレームレート Max 48fpsです

インターナルMXF/ARRIRAW Open Gate 3.4K 収録

- MXF/ARRIRAW Open Gate 3.4K収録モードは、4:3ライセンスとARRIRAWライセンスが必要です
- ◇ 3424×2202pix フレームレートMax 30fps
- ◇ 新しい収録モード
 - 4:3 2.8K (OG 3.4K)
 - 2.39:1 2K Ana. (OG 3.4K)
 - 16:9 HD Ana. (OG 3.4K)

アクティブイメージエリアはメタデータに記録されポストプロダクションのツールで自動的にクロップされます
ARRIRAW Converterと新しいARRIRAW SDKをサポートする他のツールはフルオープンゲートフレームに戻すことができます

スーパー16HD 収録モード

- ◇ センサーエリア 1600×900pixを1920×1080pixにリサイズ
- ◇ 16mm用のレンズが使用できる イメージサークル15.1mm

LDA(Lens Data Archive) ECS (Electronic Control System)の機能向上

- ◇ ARRI Electronic Control Systemのすべての利便を享受できる
- ◇ ARRIのすべてのスタンダードのレンズファイルを収納しました
- WCU-4のバージョンは2.22.22より新しいものを使用してください

Transvideo Starlite HD5-ARRI インターフェイスの向上

- ◇ 機能とタッチパネルのレイアウトが向上しました
- ◇ カメラのRecord/Stopが追加されました
- ◇ 3つのユーザーボタンからPlaybackモードに入れます

3.2K UHD 収録時 SDI出力 機能改善(カメラコントロールパネル)をサポート

- ◇ 以下3種類のセッティングができる
 - 1.5G デュアルリンク出力
 - 3G デュアル出力
 - 6G×1 3G×1

CCP-1(カメラコントロールパネル)をサポート

- ◇ CCP-1はメニューにフルアクセスできる小さいモニター

利便性の向上

- ◇ SDI出力にメタデータが乗せられている
- ◇ WiFiのon/offがユーザーボタンでできる
- ◇ EVF/LCDの拡大のポジションをLCDの周りにあるボタンで変更可能
- ◇ 厳しい露出時間の制限を止めて、代わりに警告表示を出します
- ◇ 1/24secより長い露出時間の時、露出過多によるピクセルノイズが発生する
- ◇ カメラ内に収納できるLookの数が20から50に増えました
- ◇ SUP4.0のALEXA-MiniかAMIRAでフォーマットしたCFast2.0カードでしか収録できません

SUP5.0の新機能

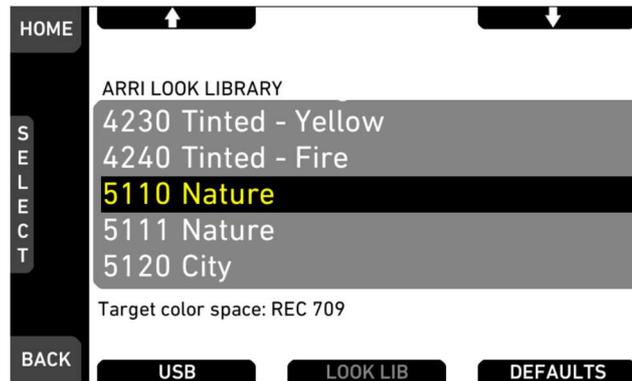
ARRIルックライブラリー

ARRIは高品質なルックを実現するための刺激的で新しい方法を紹介します。

特別仕立てのルックを撮影前に用意する時間的、予算的な余裕がなくとも、ARRI ルック ライブラリーは撮影現場でのルックマネージメントを、すべてのプロダクションが手の届くものにします。

各々3つの強さで87のルックスを提供し、ARRI ルックライブラリーは、巨大な種類の異なる撮影シナリオの要求を満たします。ルックスは、9つのグループのテーマがあります：

アプリケーション、白黒、対照、環境、フィルム、期間、季節、スペシャル、色調



HOME > LOOK > EDIT > ADD > LOOK LIB

新 HDR lookファイル

ARRI 2100 PQ 1K 200:PQ規格(SMPTE 2084, ITU-R BT.2100)モニター用、PQレベル75%で最高輝度1000cd/m²、ホワイトは輝度200cd/m²

ARRI 2100 HLG 1K 200:HLG規格(Hybrid Log Gamma, ITU-R BT.2100)モニター用、モニターは最高1000cd/m²あると想定する。この場合、映像は、PQルックがPQ用モニターで使われるのと同じように見えるHDRルックはモニター用として使用し、収録はLog Cで収録することを推奨します。



HOME > LOOK > EDIT

EXT Sync

EXT Sync機能は、最大15台のALEXA MINIカメラのセンサーとオペレーショナルパラメーターをマスターのALEXA MINIに同期させることができる。スレーブ側は、すべてのカメラの状態の概略を供給することもできる。マスターカメラのフレームレート、シャッターアングル、ND、の設定値を同様とみなすことができる。

MINI-EXT-sync ケーブル(K2.0009051)とEDB-2 分配器(K2.00013145)によって容易になり、まるで一台のカメラであるかのように、マルチカメラ全体の設定と制御することができます。EXT Syncは3D,VR,VFX,のアプリケーションのマルチカメラの設定と制御を単純化します。

HOME	SENSOR		
	Image sharpness set/active	+0 /+0	
	Image detail set/active	+0 /+0	
	EXT sync	Off	
MENU	EXT sync camera count	EXT master	
	Genlock sync	EXT sensor slave	
	Sync shift (+0.000 us)	EXT settings slave	
BACK	Mirror image	Off	

HOME	SENSOR		
	Image sharpness set/active	+0 /+0	
	Image detail set/active	+0 /+0	
	EXT sync	EXT master	
MENU	EXT sync camera count	16	
	Genlock sync	Off	
	Sync shift (+0.000 us)	+0000000	
BACK	Mirror image	Off	

HOME	EXT SYNC INFO			
	20007	A	19.0V	Ready
	20050	B	23.8V	Ready
	23311	C	23.7V	Ready
	23322	D	23.7V	Ready
	20006	E	23.6V	Ready
	SERIAL NO.	CAM ID PREFIX	POWER	STATUS

MENU > Sensor > EXT sync

MENU > Sensor > EXT sync camera count

HOME > i > EXT sync info

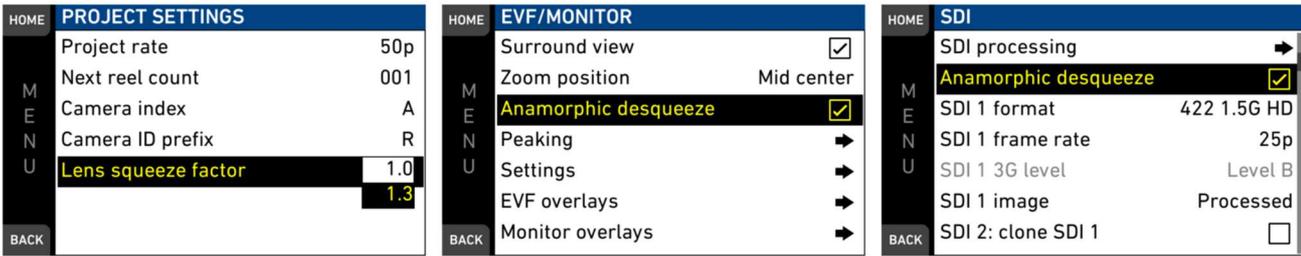
ARRI マスターグリップ



ARRIマスターグリップの機能が拡張されました。ENGレンズの3軸コントロール、ユーザーボタンの設定。EFマウントレンズのフォーカス、アイリスを正確に合わせることで、マスターグリップを使うことは、重さとコストのためにより小さいEFレンズを要求するオペレーターのためのより興味深いソリューションを提供します。

1.3x アナモフィック ディスキーズ

MVF-1, CCP-1, SDI出力の1.5G, 3Gは、1.3xのアナモフィックレンズのディスクイーズに対応しました。



MENU > Recording > Project settings > Lens squeeze factor

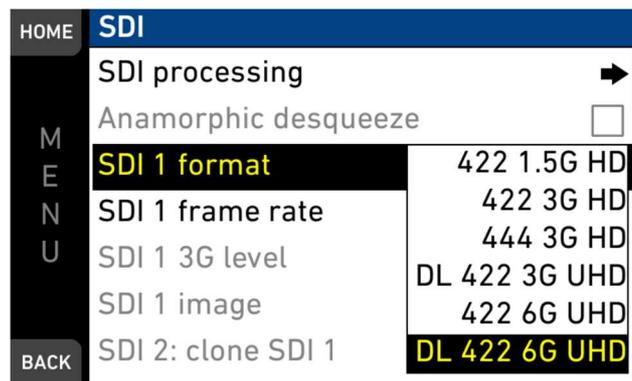
MENU > Monitoring > EVF/Monitor > Anamorphic desqueeze

MENU > Monitoring > SDI > Anamorphic desqueeze

マルチカム機能

SDI出力がデュアル6G UHD SDIをサポートし、4K UHD 最大60fps 外部収録するのに十分なデータレートに改善。

マルチカムモードで3D LUTで作成したラットをカメラにロードし使用することができる。作品のための個々のラットを事前に作成、カメラにロードしRCPで微調整することができます。



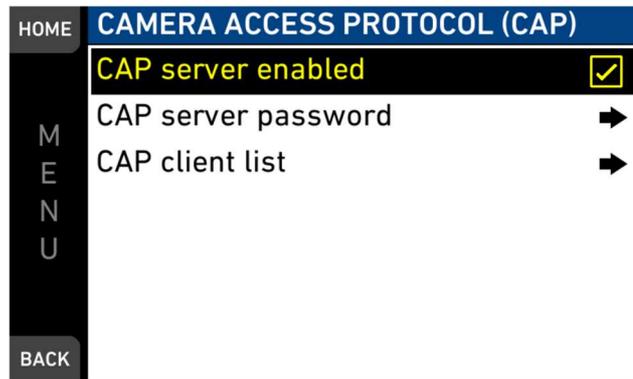
MENU > Monitoring > SDI > SDI 1/2 format

その他、EFレンズをRCPでアイリスコントロールできるように改良されました。

HD-SDIメタデータリターンスイッチコマンドや、同期、ゲンロックの向上

カメラアクセスプロトコル (CAP)

カメラアクセスプロトコルはAPI(Ethernet and WiFi)ベースのIPを通してルックのパラメータの修正ができる



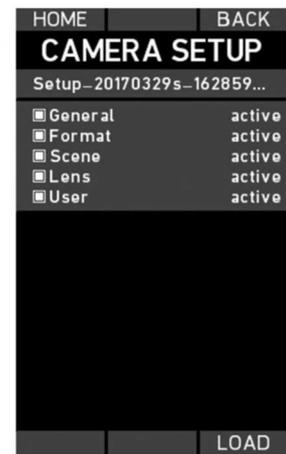
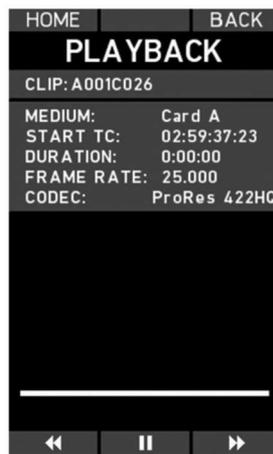
MENU > System > Camera access protocol (CAP)

WCU-4 機能拡張

LDSで使用するレンズファイルは以前は、USBメモリーでカメラに移さなければなりませんでした、WCU-4のハンドユニットからワイヤレスでファイルをカメラに送信することができます。

WCU-4から、クリップの選択、プレイバック、シャトル、すべての再生コントロールができます。

カメラに保存されたユーザーセットアップにアクセスできます。離れた場所から素早く設定を変更できます。



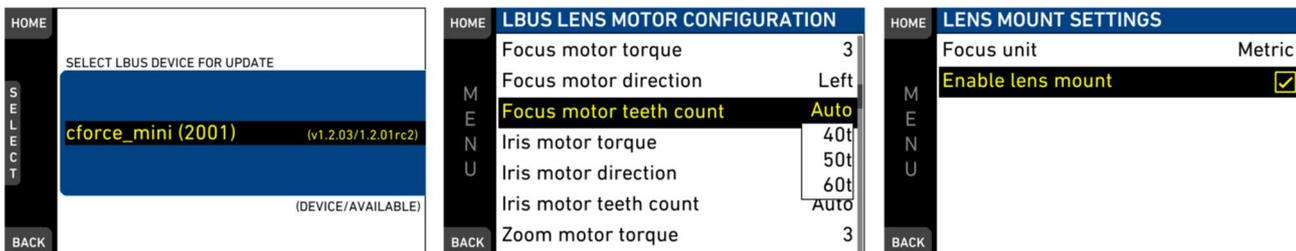
ECS 機能向上

cforceモーター、LCUBE、マスターグリップのようなLBUSデバイスをカメラからアップデートできる。

モーターのギアの歯の数を自動で認識します。

レンズデータユニットはメタデータ内のメートルとフィート表示を変更できます。

動作に欠陥のあるレンズや、互換性に問題のあるレンズを使うときにLDS端子の機能を停止できる。



MENU > System > Update > LBUS

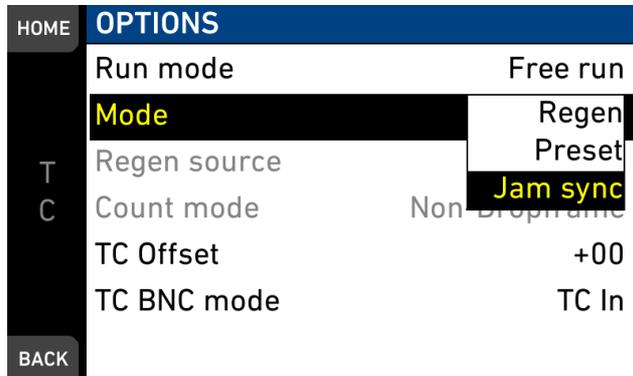
MENU > Electronic Control System (ECS) > LBUS Lens motor configuration

MENU > System > Lens mount settings

タイムコード、取扱いの改善

新しいジャムシンクモードは、外部ソースからのタイムコードを正確にサンプルしない。さらに、信号を分析し、カメラの内部発信機をソースに合わせます。重要なことに、これは、ズレの可能性を最小限にします。

ALEXA(MINIを除く)と異なることに気づいてください。分析し、調整するジャムシンクの処理は、最大30秒かかります。ジャムシンクされたタイムコードのズレは8時間以上で1フレーム以下です。



HOME > TC > OPTIONS > Mode

EFレンズサポートの拡張

EFレンズのフォーカスとアイリスのコントロール、内臓スタビライザーに対応しました。

進歩したユーザーセットアップの取扱い

1つのファイルにすべてのユーザー設定をストアしていた、ユーザーセットアップ機能を拡張しました。5つのパラメーターグループ(General,Format,Scene,Lens,User)を使用し、部分的な設定を可能にしました。もっと柔軟に、もっと特殊な制御ができるようになりました。

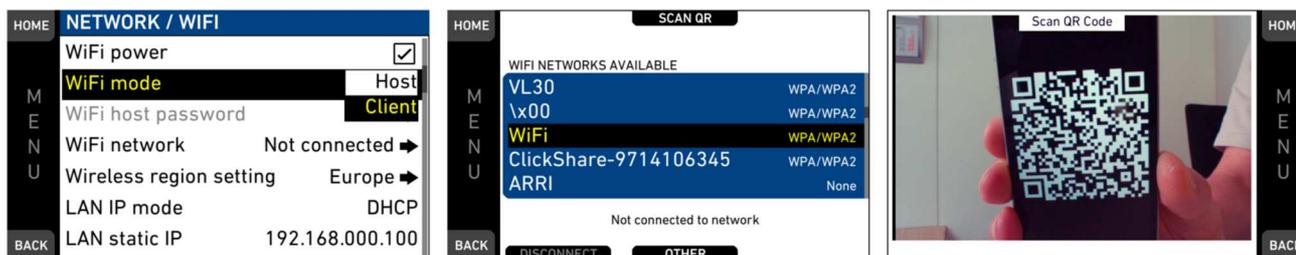
複数の異なる設定がカメラ内にストアでき、USBメモリーは設定を移す時、必要とするだけになりました。



MENU > Setup > User setups installed
 MENU > Setup > User setups installed > SAVE
 MENU > Setup > User setups on USB > SAVE

WiFi インフラストラクチャーモード

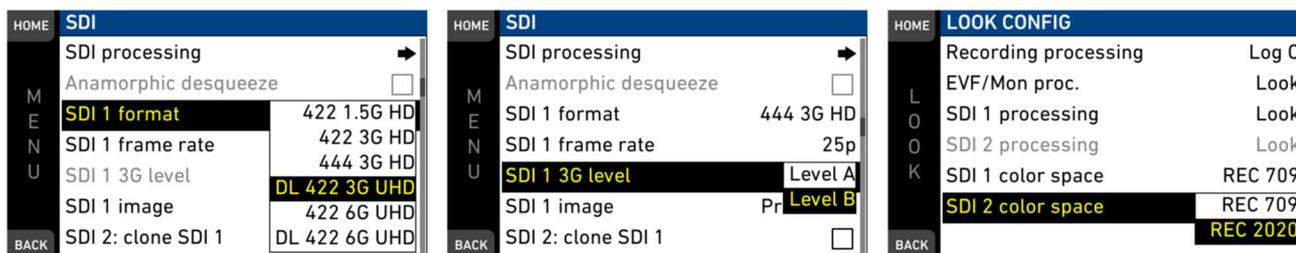
このWiFiはネットワークインフラを基盤にした外部ハブによって形成されたWiFiネットワークに接続できます。一つのデバイスで複数のカメラにアクセスできます。ネットワークの設定は、QRコードで行えます。



MENU > System > Network/WiFi > WiFi mode
 MENU > System > Network/WiFi > WiFi network
 MENU > System > Network/WiFi > WiFi network > Scan QR code

モニタリングと表示の向上

ARRI Look File V2はRec 2020カラースペースをサポート、デュアル422 3G UHD, デュアル422 6G UHD, 3G Level A/Bをサポート、Starlite HD5-ARRIでプレイバックとユーザーセットアップをコントロール、プレイバックは最高512倍速シャトル



MENU > Monitoring > SDI > SDI 1/2 format MENU > Monitoring > SDI > SDI 1/2 3G Level
 HOME > LOOK > CONFIG > SDI 1/2 color space

各種機能向上

シンプルな中国語のユーザーインターフェイス、収録中でも再生中でもフレームグラブができる。MVF-1のOLEDをスイッチオフできる。ユーザーボタン用の EI、センサーfps、NDフィルター、シャッター、ホワイトバランスのような基本的な設定のリスト

主屏幕	系统	HOME	SETTINGS	HOME	CAMERA USER
菜单	按钮+显示屏	M	EVF brightness 06	M	Button 1 EI Increase
	多机讯道模式	E	EVF power Auto	N	Button 2 EI Decrease
	摄影机连接协议 (CAP)	N	Monitor brightness Off	U	Button 3 FPS Increase
	网络/WiFi	U	Monitor flip mode Auto		Button 4 FPS Decrease
	已授权功能	BACK			Button 5 ND Increase
	更新				Button 6 ND Decrease
返回	语言 (Language) English 中文				Button 7 Shutter Increase
					Button 8 Shutter Decrease
					Button 9 WB Increase
					Button 10 WB Decrease

MENU > System > Language

MENU > Monitoring > EVF/Monitor > Settings > EVF power

MENU > User buttons

SUP6.1.1

ソフトウェア互換性に関する注意事項

ARRIRAW Converter (ARC)を少なくともバージョン 4.1.1.0 に更新し、ARRI Meta Extract (AME)をバージョン 4.1.0.0 に更新してください。

ダウンロードした MXF/ AppleProRes フッテージを AppleQuickTime Player で再生するには、AppleMXF プラグインがインストールされた macOSX バージョン 10.15 (「ProVideo Formats2.1」の一部)が必要であることを注意してください。

SUP6.1.1の新機能

1. 改善されたノイズリダクションアルゴリズム

ノイズリダクション機能 (MENU> SYSTEM> SENSOR)が改善され、モーション検出アルゴリズムが強化され、ノイズリダクションがさらに向上しました。

2. HDでのノイズリダクションのサポート

ノイズリダクションは、最大60fpsのHDおよび2Kモードでも利用できます。アルゴリズムとパラメータはUHDモードと同じです。

3. 画像のシャープネス範囲が拡張されました

画像の鮮明度の範囲 ([メニュー]> [システム]> [センサー])が拡張され、画像をより強く鮮明にすることができます。

4. 欠陥ピクセル補正-静的補正

欠陥ピクセル補正がさらに改善されます。

5. SDI出力はプロジェクトのフレームレートに従います

プロジェクトのフレームレートを変更すると、SDI出力のフレームレートは (センサーのフレームレートと同じように) 同じフレームレートに設定されます。

6. フレームラインシェーディング

フレームラインの外側の領域は、特定の不透明度でシェーディングできます

(MENU> MONITORING> EVF MONITOR> EVF OVERLAYS> FRAME LINES SHADING)、

(MENU> MONITORING> SDI> SDI PROCESSING> SDI OVERLAYS> FRAME LINES SHADING)。

7. 起動時間の短縮

カメラの起動時間が短縮され、SUP5.4よりも約4秒速くなりました。

8. ビューファインダーのグリーンタリー

緑色のタリーインサートがファインダー画像に表示され、新しいVMM-1 (ビデオモニターマルチカム)を含むすべての構成でカメラマンに緑色のタリーアラートが表示されます。

9. VTRボタン(またはユーザーボタン)を使用したインターコムトークバック

DTSファイバーシステムのインターコムトークバックは、カメラのユーザーボタンまたはENGLレンズのVTRボタン (メニュー/ユーザーボタン) でトリガーできるようになりました。これにより、カメラが肩にかかっているときにトークバックに簡単にアクセスできます。DTSシステムの最新のファームウェアが必要です。

10. CAPの機能強化

より強化されたリモート機能とツールのために、CAP (Camera Access Protocol) は、RCPアイリス制御、ビデオパラメーター、オーディオ、カメラセットアップ、フレームラインなどのために拡張されました。

11. ECS の改善

ECS(電子制御システム)は、WCU-4 からの即時の OCU オーバーライドキャンセルが改善されました。

12. 一般的な改善とバグ修正

- ・いくつかのバグ修正が含まれています。
- ・トラブルシューティングを簡素化するために、ログファイル、HWinfo ファイル、セットアップファイルを含む圧縮 ZIP ファイルをエクスポートできます。
- ・カメラのシステムクロックの内蔵バッテリーが少なすぎると、警告メッセージが表示されます。
- ・WiFi 電源の工場出荷時のデフォルト設定は「オン」に設定されていますが、他のデフォルトは変更されていません。
- ・偽色モードは、偽色がアクティブなときに変更できます。

Known Issues

SUP6.1.1の新しい動作

- ・カメラシステムクロックの内部バッテリーが低すぎる場合、警告メッセージが表示されます。

「内部時計の電池残量が少なくなっています。ARRIサービスにお問い合わせください。

内蔵バッテリーは、記録されたクリップとログファイルで使用されるシステムクロックを供給しています。常に正しい日時を含めるために、できるだけ早くバッテリーの交換についてARRIサービスに連絡してください。

SUP6.1.1で修正された既知の問題

SUP 6.1リリースでは、次の問題が解決されています。

以下の収録フォーマットの、既知の問題が解決されました。

ARRIRAW 4:3 2.8K (OG 3.4K)、ARRIRAW 16:9 HDANA (OG 3.4K)、ARRIRAW 2.39:1 2KANA (OG 3.4K)

- ・Blackmagic Resolve 16では、Resolve Decode Settingsを使用する場合、これらのフォーマットをインポートすることはできません。

Project Settings-> Camera Raw-> Decode Quality set to Full Res -Resolve。

- ・出力処理がALEXAClassic 709に設定されている場合、波形露出ツールは無効になります。

HDRコンテンツの撮影中のALEXAClassic 709出力処理は、波形露出ツールでは機能せず、無効になります。MVF-1ビューファインダーのユーザーボタンとEXPボタンは機能しません。

- ・再生から録音を開始します。

再生から直接録音を開始すると、機能しない場合があります。この場合、録音ボタンを2回押す必要があります。

- ・インターバル記録に表示される残り時間が正しくない。

大容量のCFast2.0カードをインターバル録画に使用すると、残り時間が正しく表示されない場合があります。

- ・タイムゾーンと夏時間は、SUPアップデートでデフォルトに設定されています。

SUPの更新後は、必ずタイムゾーンと夏時間を設定してください。

SUP6.1の既知の問題

これは、SUP6.1ソフトウェアパッケージの既知の問題のリストです。

Adobe Premiere 2020 (V14.7.0ビルド23) では、これらの形式をまったくインポートできません。

ARRIRAW 4:3 2.8K (OG 3.4K)、ARRIRAW 16:9 HDANA (OG 3.4K)、ARRIRAW 2.39:1 2KANA (OG 3.4K)。

ALEXAMiniをSUP5.4にダウングレードしてください(SUPダウンロードアーカイブにあります)。

アドビはPremiereでこのバグを確認しており、今後のソフトウェアアップデートで修正を提供する予定です。

最新のPremiereバグ修正については、Adobeに確認してください。

付属品

- ・ CanonHJ18B4レンズで開始/停止を記録します

キヤノンHJ18B4レンズのスタート/ストップ機能がARRIB4マウントと接続されたヒロセケーブルで機能しない場合は、レンズで「すべてリセット」を実行してください。

EXT Sync

- ・ アクティブな間、カメラカウントの警告メッセージは更新されません

カメラ数の警告メッセージが表示されている間、カメラ数の変更は更新されません。更新の警告メッセージを閉じるだけです。

- ・ 同期速度をオフに実行中に SDI 設定を変更する

EXT 同期モードでカメラがオフスピード(センサーfps !=プロジェクト fps)で動作しているときに、SDI 設定(SDI フレームレート、SDI フォーマットおよび/または SDI イメージ)が変更されると、SDI 出力が互いに同期しなくなる可能性があります。この場合、マスターカメラのセンサーfps 設定を前後に変更して、SDI 出力同期を再確立します。

- ・ スレーブカメラが接続されているがまだ構成されていない場合の誤ったアラート

スレーブカメラがマスターカメラに接続されているが、まだスレーブカメラとして構成されていない場合、誤ったアラート状態が発行されます。EXT 同期クラスターをセットアップするときは、最初にすべてのスレーブカメラを有効にし、最後にマスターを有効にします。

フレームグラブ

- ・ インターレースS16またはHDクリップの一時停止再生では、フレームグラブはサポートされていません。

フレームグラブを実行するには、再生中に目的の位置でフレームをグラブします。

- ・ CAPoverWiFiを使用したフレームグラブが失敗する。

WiFi接続を介してCAPを使用してフレームグラブをアクティブ化すると、フレームグラブが失敗する場合があります。イーサネット接続を介したCAPフレームグラブは正常に機能します。

- ・ ARRIRAW再生からのフレームグラブ

ARRIRAW再生から取得したフレームグラブは、フレームのエッジでピクセルの明るさの違いを示す場合があります。

入力/出力

- ・ リターン入力を最初にアクティブにすると、画像が歪む場合があります

カメラの起動またはセットアップ後、ライブカメラ画像からリターン入力への最初の切り替えで、SDI出力に歪んだフレームが表示される場合があります。次のリターンアクティベーションで、スイッチはクリーンになります。

- ・ SDI2での間違った偽色モード

SDI 1出力を「Clean」に設定し、SDI 2を「Processed」に設定すると、False Color機能は、「Log C-Based」モードに設

定されている場合でも、SDI出力に常に「MonitorBased」モードを表示します。SDI 1が「Processed」に設定され、SDI が「クリーン」に設定されている場合、偽色機能は期待どおりに機能します。

- ・ V / Hフリップで逆にされたSDIインターレースフィールドの順序

V又はV+Hフリップをアクティブにすると、SDI出力でのインターレースフォーマットのフィールド順序が逆になります。

- ・ SDIフレームレートがセンサーフレームレートよりも大きい場合、ラインが歪む可能性があります

SDI出力フレームレートを59,94または60fpsに設定し、記録フレームレートが50 fps(またはそれ以下)の場合、SDIイメージにラインアーチファクトが発生する可能性があります。

- ・ 再生モードの開始/終了により、瞬間的な信号損失が発生します。

再生モードに入るとき、または再生モードを終了するとき、記録フレームレートがプロジェクトフレームレートの2倍である場合、または記録フォーマットがインターレースされている場合、SDI出力はSDI信号の瞬間的な損失を示します。

- ・ SDIステータスオーバーレイに間違った処理アイコンが表示される場合があります

処理モードが A709 に設定されている場合でも、特定の SDI 出力で LogC アイコンが表示される場合があります。

- ・ タイムコード同期使用時の SDI 出力

タイムコード信号を同期ソースとして使用する場合、SDI 出力が同期ソースと正確に同期していない可能性があります。ソースを同期するための正確な SDI 出力同期については、3 レベルのゲンロック信号を使用してください。

- ・ 1.3 倍のアナモルフィックデスクイーズを使用した 3.2K でのモニタリング

EVF /モニターおよび SDI 出力は、1.3x アナモルフィックデスクイーズが有効になっている 3.2K 記録モードでスケールアップアーティファクトを示す場合があります。アーティファクトはモニタリング出力に限定されており、記録には影響しません。

- ・ 1.3x アナモルフィックデスクイーズは UHDSDI 出力には使用できません

1.3x アナモルフィックデスクイーズは、UHDSDI 出力 422 6G、DL 422 6G、および 422 3G DL には適用されません。

- ・ 1.3 倍のアナモルフィックデスクイーズは EVF ズームでは使用できません

1.3 倍のアナモルフィックデスクイーズは EVF ズーム画像には適用されません。

- ・ 同期ソースを接続するときの SDI 出力での瞬間的な画像損失

ゲンロックまたはタイムコードソースを接続すると、SDI 出力が再同期します。再同期中に、短い画像損失が発生する可能性があります。

- ・ 6G を構成する際の SDI 出力での一時的な画像損失

SDI 出力を 6G に変更する場合、または SDI 出力を 6G から別の形式に変更する場合、両方の SDI 出力で短い画像損失が発生する可能性があります。

メディア

- ・ クロスプラットフォームの CFast2.0 フォーマットの問題に対する保護

記録に使用できるのは、SUP 4.0(またはそれ以降)を実行している ALEXAMini または AMIRA で消去された CFast2.0 カードのみです。これは、他のカメラメーカーが使用しているさまざまな CFast2.0 フォーマットスキームによって引き起こされる問題から保護するためのものです。

メタデータ

- ・ メタデータのチルトとロールが正確ではない

メタデータのチルトとロールの値は、VFX アプリケーションで使用するのに十分な精度ではない場合があります。

再生

- ・HDR が焼き付けられているように見えるクリップは、MVF および EVF で正しく表示されません。

HDR の外観が焼き付けられているクリップを再生すると、MVF と EVF の両方が HDR に対応しておらず、トーンマッピングが適用されていないため、正しく表示されません。これは監視の問題であり、記録された映像には影響しません。ただし、HDR コンテンツを撮影するときは、通常、外観を焼き付けることはお勧めしません。

- ・ProRes4444XQ クリップの内部カメラ再生

ProRes 4444 のカメラ再生では、XQ クリップにジッターまたは水平方向に分割されたフレームが表示される場合があります。記録されたクリップは問題ありません。

- ・一時停止モードでは、インターレースクリップは半分の垂直解像度しか表示しません

この動作は、SDI 出力で再生が監視されている場合にのみ観察できます。

- ・カメラボタンでクリップリストを閲覧しても、モニターのクリップ選択が更新されない場合があります

カメラ本体のボタンで再生クリップリストを閲覧しても、ファインダーモニターに表示されているクリップリストのクリップの選択が更新されない場合があります。

- ・インターレースクリップは、SDI 出力がインターレースに設定されていない状態で再生すると垂直方向にジッターします。

これは SDI での再生にのみ影響し、記録は正しいです。SDI の出力構成をプロジェクト構成と常に一致させてください(例:60i SDI 出力で再生される 60i クリップ)。

- ・再生をアクティブにしても、ピーキングは無効になりません

再生中にピーキングを行わない場合は、手動でピーキングを無効にしてください。

Recording

- ・カメラが ARRI_UDFCFast 以外のカードのフォーマットを要求しない場合があります

MVF ディスプレイがライブビューモードに設定されている間、カード上のファイルシステムが ARRI_UDF ファイルシステムではなく、FAT32、ExFAT などであっても、カメラは CFast カードのフォーマットを要求しません。

- ・MPEG または ARRIRAW モードでの再生から録音を開始します

再生から直接 MPEG または ARRIRAW 記録を開始すると、「FPGA 障害のために記録が停止しました。カメラを再起動してください。」というエラーメッセージが表示されて失敗する場合があります。録音を開始する前に、再生を終了してください。

- ・「ストロング」モードでのノイズリダクション

ノイズリダクションの「ストロング」モード(S16 HD、3.2K、4:3 2.8K、4K UHD で利用可能)は、動きの速いオブジェクトで画像アーティファクトを引き起こす可能性があります。「強力」モードを使用する前に、これを適宜テストすることをお勧めします。

- ・CFast2.0 カードでの記録中の電力損失

CFast 2.0 カードは、記録中に取り外された場合、またはカメラがカードに書き込んでいるときに突然電源が失われた場合に、再フォーマットする必要がある場合があります。カメラは警告メッセージでエラーを示します。カードの損傷やそれ以上の録音を避けるために、警告の指示に従ってください。警告が表示されない場合、アクションは不要です。詳細について、またはさらに問題が発生した場合は、ARRI サービスにお問い合わせください。

- ・2K で記録する場合、HD-SDI 出力のスケーリング品質が制限されます

結果として得られる画質は、監視には十分であると見なされますが、信号をマスターレコードとして記録するには制限される場合があります。これは、2K 解像度が HD にダウンスケーリングされたためです。HD-SDI 出力にマスターレコ

ードとして HD を記録する場合は、記録形式を HD に設定してください。

- ・最大クリップサイズのエラーメッセージ。

ごくまれに、カメラが録画を停止し、「録画が停止しました-最大クリップサイズに達しました」と報告する場合があります。これは、詳細がほとんどなく、ProResLT のようなデータレートの低いコーデックを使用している画像コンテンツでのみ発生する可能性があります。

- ・記録中の露出指数またはホワイトバランスの変更

記録中に露出指数またはホワイトバランスを変更すると、1 つのフレームに 2 つの異なる画像特性が含まれる可能性があります。

- ・CFast2.0 カードのリール数が限られている

CFast 2.0 カードでの記録は、ProRes および ARRIRAWMXF ではカードあたり 15 リールに制限されています。リールの最大数に達した場合でも、それ以上リールを作成する必要がなければ、記録は可能です。

タイムコード

- ・タイムコードを使用して複数のカメラを同期する

タイムコード同期とタイムコードモード再生を使用して複数のカメラを同期すると、記録されたクリップの一部がプロジェクトレートが 30fps を超える 1 フレームのタイムコードオフセットを示します。

- ・LTC タイムコードを介してセンサーを同期するには、高精度のタイムコードジェネレーターが必要です

LTC タイムコード信号を使用してカメラをゲンロックする場合は、ジッターの少ない高精度のジェネレータが必要です。デバイス

標準の LTC タイムコードソースは LTC ゲンロックソースとして機能しない可能性があるため、問題なく機能します。

使いやすさ

- ・ファクトリリセットおよびセットアップファイルはレンズマウント設定を無視します

工場出荷時のリセット後、またはセットアップファイルのロード後、設定 MENU / SYSTEM / LENS MOUNT SETTINGS / ENABLE LDS MOUNT は変更されず、以前の設定のままになります。それに応じて、常に ENABLE LENS MOUNT 設定を確認してください。

- ・SUP の更新後に Web リモート機能が正しく機能しない

カメラを更新した後、Web ブラウザのブラウザキャッシュをクリアしないと、Web リモート機能が正常に動作しない場合があります。

- ・アクティブ化された SDI フレームラインまたはピーキングで QR コードスキャンが失敗する場合があります

カメラの WiFi セットアップに QR コードを使用する場合、フレームラインまたは SDI 出力のピーキングがアクティブになっているとスキャンが失敗することがあります。QR コードをスキャンするには、一時的に非アクティブ化するだけです。

- ・FN + 1 および FN + 2 ボタンはエラーメッセージによってブロックされる場合があります

ポップアップエラーメッセージが表示されると、FN ボタンの機能がブロックされる場合があります。ビューファインダー、CCP-1 を取り付けるか、Web リモートツールを使用してエラーメッセージを確認してください。

- ・MVF-1 と CCP-1 を接続するとモードスイッチがスムーズにならない

デジチェーン接続された MVF-1 と CCP-1、および MVF-1 がアクティブモードの場合:ProRes から ARRIRAW に、またはその逆に切り替えると、ディスプレイに黒いバーが表示され、黒にフェードします。モードスイッチ自体は正しく実行されます。

- ・モード変更後、波形表示が更新されない

ビューファインダーで波形表示を有効にして記録解像度を変更した場合、波形表示は更新されません。波形表示を更

新するには、WFM のオフ/オンを切り替えるだけです。

- ・名前が 32 文字を超えるフレーム行はサポートされていません

32 文字を超える名前のフレーム行はサポートされていません。

- ・ゼブラ機能は 99%に制限されています

Zebra 関数の上限は 99%に設定されています。

- ・レンズファイルが WCU-4 で編集されたときのモーターキャリブレーション要求

WCU-4 でアクティブな LDA レンズファイルを編集し、LDS レンズが接続されている場合、カメラはレンズモーターのキャリブレーション要求を発行します。この場合、レンズファイルを編集する前に、モーターをもう一度キャリブレーションする必要があります。

- ・出力処理が ALEXAClassic 709 に設定されている場合、波形露出ツールはサイレントに無効になります

HDR コンテンツの撮影中の ALEXAClassic 709 出力処理は、波形露出ツールでは機能せず、サイレントに無効になります。MVF-1 ビューファインダーのユーザーボタンと EXP ボタンは効果がありません。

- ・カメラの再生中に CAP サーバーのフレームを取得する

内部カメラの再生中に CAP サーバーを介してトリガーされたフレームグラフは、再生画像の代わりにセンサーからライブ画像を取得します。

- ・ステータスオーバーレイの読み取り値を傾けてロールする

カメラの向きでロール値またはチルト値を適切に計算できない場合、電子ホライズンオーバーレイおよびチルトアンドロールオーバーレイで誤った読み取り値が表示されることがあります。

- ・SUP4 リリースと互換性のない更新された EF マウント

カメラソフトウェアを SUP4 に戻しても、EF マウントソフトウェアはダウングレードされません。その場合、SUP5.x でアップデートされた EF マウントは機能しません。

- ・タイムコードモードのジャム同期とゲンロック同期の同時使用はサポートされていません

タイムコードモードのジャム同期を使用する場合、またはゲンロック同期を使用する場合、カメラはソースクロックに一致するように内部オシレーターを調整します。したがって、タイムコードモードのジャム同期とゲンロックの組み合わせの使用はサポートされていません。

- ・鏡像の垂直反転はフレームグラフには適用されません

鏡像設定を使用する場合、フレームグラフには水平方向の反転のみが適用されます。

- ・一部の形式で監視する場合、アナモフィックデスクイーズを非アクティブ化できません。

アナモフィックデスクイーズは、ProRes HDAna で監視するために非アクティブ化することはできません。および 2.39:1 2KAna。録音フォーマット。

- ・以前の SUP で作成されたユーザー設定は、SUP6.1 と互換性がありません

SUP 5 以前の SUP で作成されたユーザー設定は、SUP6.1 ではロードできません。

- ・Starlite-HD5ARRI は、UI が画面に表示されていない場合でも、設定を変更したり、録画をトリガーしたりできます。

Starlite-HD5ARRI が「CLEAN」出力を表示する SDI 出力に接続されている場合、画面の各領域に触れたときに、設定が予告なく変更されることがあります。タッチインターフェイスを表示するには、Starlite-D5ARRI が「PROCESSED」に設定されている SDI 出力に接続されていることを確認してください。

ファインダー

- ・キャリブレーションは、最初の接続から 10 秒後に適用されます

MVF-1 を内蔵の新しい OLED ビューファインダーパネルに初めて接続する場合、新しいビューファインダーキャリブレーションがロードされて適用されるまでに最大 10 秒かかる場合があります。

- ・ビューファインダーは、アナモルフィックデスクイーズを使用した 4:32.8K モードでスケーリングアーティファクトを表示する場合があります

アーティファクトはビューファインダーの監視に限定されており、記録には影響しません。

- ・新しい接眼レンズにアップグレードされていないシリアル番号 2150 までの MVF-1 の場合

ビューファインダーは、接眼レンズの使用中にのみ近接センサーを使用して OLED ディスプレイをアクティブにするため、スイッチがオンにならない場合があります。不利な角度で MVF に近づくと、MVF が適切にトリガーされない可能性があります。

- ・非常に低いフレームレートでのズームまたはサラウンドビュー

MVF-1 / MONITOR の画像は、ズームまたはサラウンドビューのいずれかが非常に低いフレームレート(5 fps 未満)でアクティブ化または非アクティブ化されると、一時的にフェードします。

TOKYO 03-5210-3801  OSAKA 06-6375-3838